



Monthly Theme

## SNS時代に高床式デイトナハウスが 地方の人気店舗を メディアにする

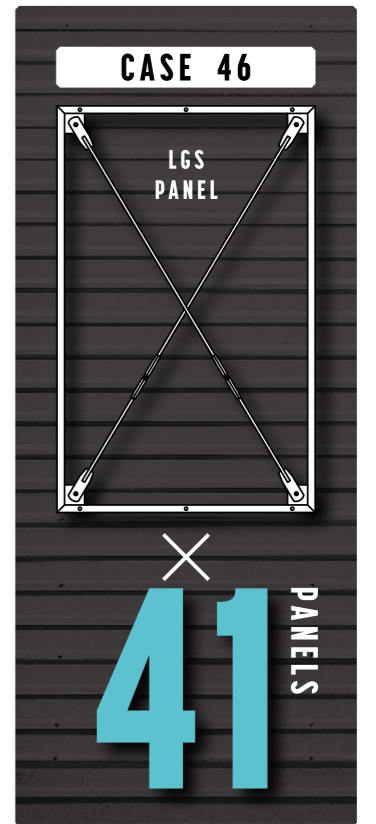
従来型のマスメディアに頼らず、切り立った情報を発信できるSNSの時代は、瀬戸内の離島にある人気店舗にメディアのような機能を持たせてしまうのです。この夏オープンを目指して計画中的の実際例を紹介します。



INTERIOR

気持ちいいくらいに伸びやかな店舗内空間。3スパンごとに柱が一本必要になりますが、ほとんど無柱空間と感ずるほどの開放感。海と空の切れ目の水平線が天然の定規となつて、このシンプルな空間の直線的な広がり快感を更に増幅。しかも建物全体がふわりと空中に浮かび上がっているのです。

デイトナが提案する  
新しい建築のかたち



### What's DAYTONA HOUSE ?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分りやすさと、パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

www.daytona-house.com

● INFORMATION  
**LDKinc.**

代表: 玉田 敦士  
www.ldk.co.jp  
03-6228-4933

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本である CAR&HOME にて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社 LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。



EXTERIOR

スキップしているデッキの形状がよくわかる、建物横側からのカット。天然の客席でもあるこのデッキスペースの取支効率は当然ですが抜群。つまりデッキスペースが美しく見えるデザインが、屋外用店舗には好都合なのです。その意味ではデイトナハウスの高床式は最適解なのです。

瀬戸内海の岩国市沖。穏やかな海に大小さまざまな島が点在するその場所に、ひととき大きな島「周防大島」があります。この周防大島は、広島からのちょうど良い距離感も手伝ってツーリングにおける絶好のスポットになっていきます。

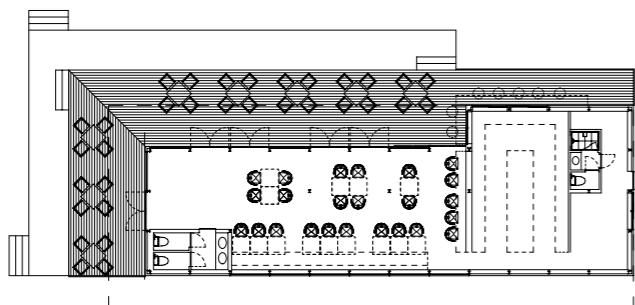
そんな美しい島にある、超レアなステイキ井(ギャング井)を提供する「アロハオレンジ」も、ツーリングバイカー達の旅の楽しみにもなっていて、連日ずらりとバイクが並ぶ大人気のお店。その店舗を、この度デイトナハウスの高床式LGSシステムで新築移転する計画を進めています。

瀬戸内の魅力をシンプルに体感できる場所。趣向を凝らしたおいしい食事や友との語り合いのひと時が、生きる喜びとエネルギーを増幅します。その日常的な有様を、今ではSNSでお店自体が発信できるようになりました。また、ユーザーからいろいろな感想や意見が寄せられ、SNSならではの、双方向通信がおいしい食事と美しい風景を共有要素として成立させるのです。これは文字通り、新しい形式のメディアです。

オーナーの野口さんは「情報発信方法を知っていれば、地方のほうがいい飲食店はむしろ上手いく」と話しておられます。確かにテーマが切り立ってはつきりして、それを上質なビジュアルで発信できれば、土地代や人件費が安い地方のほうが回りは当然よくなります。テーマを明確化し、唯一感を演出する意味で、デイトナハウスのフォルムとイメージがメディア機能の一部になっていくのです。

### FLOOR PLAN

新生アロハオレンジの平面計画図。まだ草案の段階ですが、海に向かって開かれて、伸びやかな建物の構成がよくわかります。海側である道路側に伸びていく木製デッキはスキップフロア状になっていて、道路を疾走するクルマやバイクからもその縦横比率が美しく見えるよう設計しています。



### SHOP INFORMATION

アロハオレンジ  
山口県大島郡  
周防大島町大字久賀7270  
0820-72-2860  
alohaorange.com

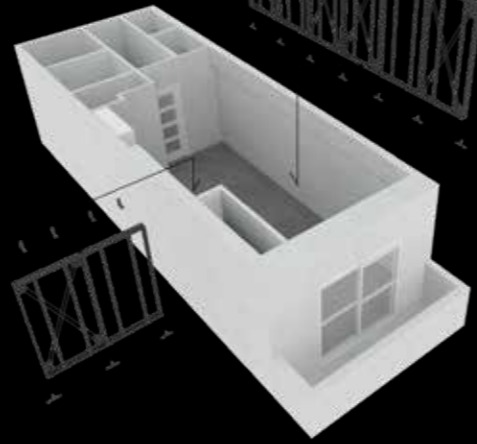
Photo/Ken TAKAYANAGI Text/Atsushi TAMADA

### リノベするのは 至って普通の賃貸物件

リフォーム前の室内空間。かつてはアパートに対する相対化商品であり、その意味で家賃設定が高めに勝負できたマンション賃貸物件も今では新鮮味のないありふれた賃貸商品になってしまっています。駅からの距離と経過年数だけが尺度の世界を逆転させるためには、住まい手の愛着を増幅する必要があると考えるわけです。



Before



今回リノベーションした物件にX-FRAMEを設置するイメージ図。部屋の中心にパネルをレイアウトすることで、1つの部屋に2つの空間を構築することが目的。そして壁面にはパネル6枚を配しています。

### After



### X-FRAMEで空間が劇的に生まれ変わる

黒い鉄骨を使った部屋のディスプレイ前の状態。チャコールグレーの壁面と黒系鉄骨のグラデーショントラストがよくわかります。FASブラケットの木板幅を特注すれば、ロングカウンターや作業用カウンター、PCテーブルなど自由自在の用途に供することも可能。他にもキッチン周りや元々あった押し入れなど、デイトナハウス流のリノベポイントは多岐に渡ります。



### White ver. SOHOや女性向けにもマッチするホワイトバージョン

白のX-FRAMEを実装した空間。上の黒フレームの写真と比較すると一転して洗練とクールさが同居する空間が現出。どちらか選べと言われても正直困ってしまう質の高さ。白フレームには特にインナーグリーンが効果的となります。

### DATA.

住所 大阪市北区区分寺2-2-20  
間取 1R 面積 31.96㎡  
家賃 99,000円 管理費 10,000円  
敷金 1ヶ月 礼金 1ヶ月

賃貸に関するお問い合わせ先  
双日新都市開発株式会社  
賃貸住宅事業部 担当 坂本  
TEL : 03-5510-3692  
MAIL : so-rent@sojitz-nud.com

### FAS BRACKET

#### FASブラケットをアナタはどう使う？

普段ご紹介しているLGSパネルの建築編では、もうすっかり馴染みのFASブラケットですがリノベーション案件ではその存在価値がさらに高まります。まんべんなく配置するもよし。一方集中的に場所を決めて本棚風に設置するもよし。考えるだけでもすでに楽しいのです。



### OTHER DETAILS

電気配線はリノベにまつわる大きな問題の一つ。しかも現代生活は多くのコンセントプラグを必要としますが、タコ足の連続はカッコ悪い。X-FRAMEのCチャンネルの「ウエブ」と呼ばれる中腹部分に、コンセントボックスをスライドできるシステムや、「リップ」と呼ばれる部分の裏側にケーブルを這わせるなど、DIYでもいろいろ楽しめてしまう。配線関係も敢えて剥き出しに。



由気ままにディスプレイが演出できるのです。  
このように、新しい可能性を示唆するX-FRAME。今後、折り畳みベッドやテーブル、TVボードや作業台など、様々な機能を付与する予定で、オフィスや店舗などのシーンで活用できるアイデアも計画中です。

### デイトナ不動産



## 専用LGSパネル『X-FRAME』で マンションリノベーション革命!!

マンネリ化しつつあるマンションリノベーションの世界に一石を投ずるマットな鉄骨パネル。愛着が持続する空間を構築するニューアイテムが誕生しました。

建築本体の構造体としてデイトナハウスが独自に開発した「LGSパネルシステム」をマンションリノベーションにも使用するという試みがスタートしました。名付けて「X-FRAMEプロジェクト」です。  
今までのマンションリノベーションは、既存のプラスチックボードを剥がして、RCの構造壁を露出。そして、そこを塗装して床に無垢材系フローリングを敷くというのが一般的でありました。  
「なぜ白く塗るのか?」「元々あるコンクリートの素地の色でいいのではないか?」と思う方もいらっしゃると思いますが、それは新築時の工法にその原因があります。  
中古マンションは新築時、プラスチックボードの接着剤としてGLボンドという「セメント系接着タンゴ」を使用するのが一般的でありました。これを使っていると、解体時にプラスチックボードを剥がしても、素地のコンクリート壁面にGLボンドの跡が点々と白く残ってしまふ。そして、これを除去することも事実上不可能。だから白く塗装してしまうので、それがかえってマンションリノ

ベーションのつまらない画一化、という形になっているのです。  
そこでデイトナハウスは、リノベーションに鉄骨の荒々しい素材感で、喝を入れる。システム商品を開発しました。それが「X-FRAME」です。  
表面は従来のLGSパネルと同じ、粉体塗装焼き付けのマットな素材感。パネルは1.3m×2.1mとエレベーターに入る寸法を基準に設定。これにより年月を経たありきたりな空間にクールさとハードボイルドをプラスします。壁面はそのイメージを助長するチャコールグレーの左官材仕上げ。これが壁面と鉄骨の黒のグラデーションを生み出します。  
リノベシステムとしてのもう一つの眼目は、自由に棚を設置できる「FASブラケット」の威力です。万金物を応用した締め込みシステムで、どこでも自由に棚を設定できるのです。  
従来賃貸人は、現状復旧費として敷金を没収されるのが怖くて、なかなか壁面ディスプレイにて自分の世界観を楽しむことができませんでした。しかし、FASブラケットを使用すれば現状復旧義務と無縁に、自



### What's X-FRAME?

ダブルのブレース(筋交い)をデザインの基調にしたその形状から名付けられたリノベーションシステムパーツ「X-FRAME」。中央部の2本の縦筋線にオリジナルの棚システムFASブラケットを装着して、自分好みのハードボイルドな空間を演出したい方に最適なリノベーションアイテムです。近日中に新品として発売開始します。